



大すきいっぱい西北の子

～学びづくり、くらしづくり、仲間づくり～

令和6年5月29日
長崎市立西北小学校
文責：校長 江原芳樹
R6 第3号

今週末は6月です。

1 学期の後半戦に入ることになります。今年は、気候の変化が激しく、なかなか予想できない状況にありますが、まずは学校生活を安定させ、一年でもっとも登校日数の多いこの6月に、しっかりと学習に向かう姿勢と態度を身に付けさせたいと考えています。

ご家庭においても、「何を学習したのか」という学習内容だけでなく、「どのように学習したのか」「学習にどう取り組んだのか」という「学び方」についても、子どもたちへ問いかけていただきたいと思います。学習結果が子どもを創るのではありません。学習への取り組み方、学び方がその子の将来を創っていくものだと考えています。

学校においても、自分の学習状況を理解する場を設け、自分の学び方について自己理解を深めさせていこうと考えています。

運動会の参観及び片付け等のご協力ありがとうございました。

5月26日（日）、予定どおり運動会を実施することができました。少し蒸し暑さの残る朝でしたが、多くの保護者・地域のみな様が参観していただきました。昨年よりも多くの方が参観されたのではないかと感じています。

今年の運動会では、応援合戦に向けて、高学年の児童を中心に創意工夫して取り組みました。「させられる運動会ではなく、自分たちで創り上げる運動会」をめざして本番に向かいました。

どの競技・演技においても、これまでの練習の成果を十分に発揮できたと考えています。



片付けの際は、多くの保護者の皆様が素早く手伝っていただきました。12張りのテントがあっという間に畳まれ、運ばれていく様子は見事でした。心より感謝いたします。

また、競技ごとの参観場所の入れ替えにもご協力いただきました。

本当にありがとうございました。

今年の教育週間は、6月23日(日)～29日(土)の1週間で実施します。

6月29日(土)は、土曜授業として、午前日課で学校公開を行います。昨年は、道徳の授業参観と懇談会を行いましたが、今年は、学年ごとに、保護者の皆様と一緒に活動や作業を行う内容を考えています。参加型の内容となるよう、工夫していく予定ですので、どうぞお時間をつくって参加していただきますようお願いします。その後学級懇談会の時間も予定しています。1学期最後の学級懇談会となりますので、どうぞ参加のほどよろしくをお願いします。子どもたちの下校も、学級懇談会後になりますので、下校を一緒にすることができます。

詳しい内容、日程等は後日プリントでお知らせします。



《校長散歩道 No. 1 4》

教育週間は、一人ひとりの権利、つまり「人権」についても考えるときです。ある人権に関する研修会で教えてもらった話を紹介します。

まどみちおさんの代表作「そうさん」は、昭和26年に作詞されました。やさしい言葉で綴られたユーモアあふれる詞の数々は、何十年も変わらず子どもたちに愛されてきました。

まどみちおさんは、「そうさん」について、次のように語っています。

「この世で鼻が長いのは象だけなので、“おはなが ながいのね”と言われるのは、笑われているようなもの。しかし、象は褒められたかのように、“そうよ、母さんもながいのよ”と応える。他の動物とは違っていても、自分が自分であることは、素晴らしいことなんだ、と象がかねがね思っているからなんです。

この歌には、「象さん親子の豊かな触れ合い」が感じられます。

もし、この親子がキリンさんなら、「キリンさん、キリンさん、お首が長いのね。そうよ、母さんも長いのよ。」となるのでしょうか。お猿さんなら、……。

もし、象さん、キリンさん、お猿さんがお互いの違いを取り上げて、口々に批判し合ったらどうなるのでしょうか。「違うことがいけないこと」と無意識に強化されていくことになります。みんなが同じにならなければいけないのなら、象さんは、鼻が長くて、首が長くて、お尻が赤い動物となります。こんな象さんは、もはや象さんではないのです。みんなと違うから、象さんは象さんでいられるのです。

人権とは「自分らしく生きる権利」とよく言われます。そのためには、まずすべての人が、自分が自分らしくあることに、自信をもつ社会をつくる必要があります。

まどみちおさんは、次のようにもおっしゃっています。

『目の色、髪の色が違ってても、みんな仲良くしよう』、などよく言われますが、わたしは、『目の色、肌の色が違っているから、仲良くしよう』といつも話をしています。

まさに、一人ひとりの価値を大切にしている考え方だと思います。